

今週の

倫理

1月のテーマ | 心即太陽

1213号

「人材は企業の宝」といわれるのは、人の力が会社をつくるからです。社員がイキイキと働く職場からは、建設的な意見、積極的かつ自発的な行動が現われるものです。倫理法人会で推進する「活力朝礼」は、職場の風通しをよくし、社員それぞれの人間力を向上させてくれます。

自動車の整備、車検、中古車販売といった総合サービス事業を展開するH氏が、倫理法人会に入会したのは、今から約十年前のことです。

H氏は、お客様に喜ばれるようなサービスを届けるために、社員がイキイキと働けるような活気溢れる職場にしたいと考えていました。さらに自らが実践し、変わらなければならぬとも考えていました。

その実現のために、独自に朝礼を取り入れたものの、H氏の熱い思いとは裏腹に、一向に社員の士気が上がりませんでした。そんな葛藤を抱えていた時に出会ったのが倫理法人会であり、「活力朝礼」と『職場の教養』の存在を知ったのでした。

社員にスムーズに「活力朝礼」に取り組んでほしいと考えたH氏。実際に「活力朝礼」を実施している企業に何度も足を運び、そこでのアドバイスに耳を傾けました。

すると、自社で実施してきた朝礼には、大きな問題が二点あることに気づきました。それは、①朝礼時間は三十分と長い。そのほとんどが社長の訓話に終始していた点。②社員だけに変革を強要すれば、職場が良くなるだろうと信じていた点、の二点です。



## 活力朝礼を導入して 自分の器磨きに徹する

これまでの朝礼の問題点を知り、活力朝礼との違いに強い衝撃を受けたのです。そこで「変わるのは自分」であり、社員が主役である朝礼にしようとしたのです。

活力朝礼の導入後、社長の挨拶時間を短縮し、体操などの実習を取り入れ、朝礼の時間は十五分程度に収めました。すると社員が自主的に朝礼に参加するようになったのです。「活力朝礼」導入から一年が経過し、次のような効果が現われてきました。

- ◆ 職場内の雰囲気明るくなり、社員の笑顔が増えた。
- ◆ 社員の接客マナーが向上し、お客様からの信頼と評価を得られるようになった。
- ◆ 社員の離職率が減った。
- ◆ 車検の業績は、前年同月比二倍増。
- ◆ 作業効率が上がり、残業が減った。基本給をアップし、収入減になることなく、家族と過ごせる時間が増えた。

以上のように「活力朝礼」を導入してから、様々な成果が現れたのでした。

今ではH社長は「社会貢献ひいては日本創生のお手伝いをしたい」と口にしています。そのために、最も身近で大切な存在である社員に「笑顔で出社し、笑顔で帰宅できること」を願い、会社でも家庭でも幸せを噛み締めてほしいと考えています。

「活力朝礼」を通して、社員に寄り添いながら、自分自身を磨いていくことを決意したH社長。「近い将来、社員の給料を業界一の水準にまで引き上げていこう」と、志を新たにしましたのです。